ゼロの日のための願い ＜その６＞

こどもの事故０作戦

危い危い、ではこどもは憶病になるだけです。だからといって、幼いこどもに何でも積極的に経験させて、というわけにもいきません。そのカネアイが難かしいのです。危いものは危い、と教えると同時に、自分でその危険から身を守るように習慣づけることが大切です。

提 言

★まず示せ、正しい歩行は大人から

道路を歩く人にもきめられたルールがあり注意する義務があります。お互いに。

★お母さん方にお願い

——朝のでがけに——

①時間に余裕をもって送り出す ②きめられた道を集団で ③叱らない ④忘れものないように。

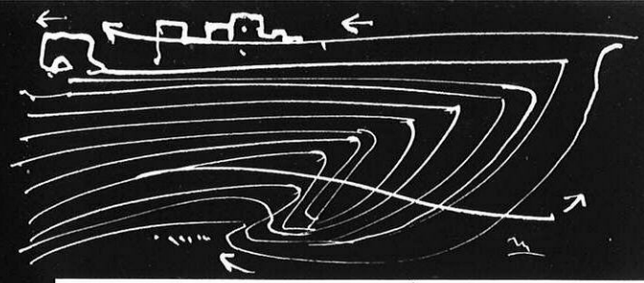
——遊びにゆくとき——

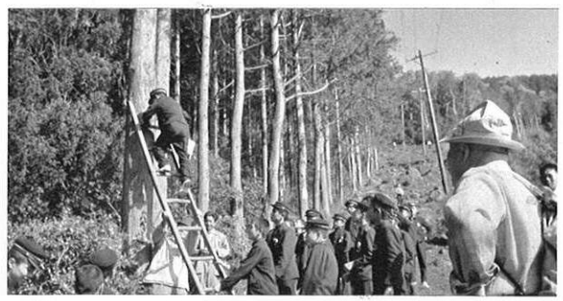
①危険な場所を教える ②遊び場を指定する ③帰る時間をきめておく。

(注) 全国における41年中の中15才以下交通事故発生状況—死者1,907人、負傷者77,856人(県内死亡25人)
発生時間13時～17時で、土・日・月曜の順に多い。

熊本県交通安全対策室

県政ハイライト



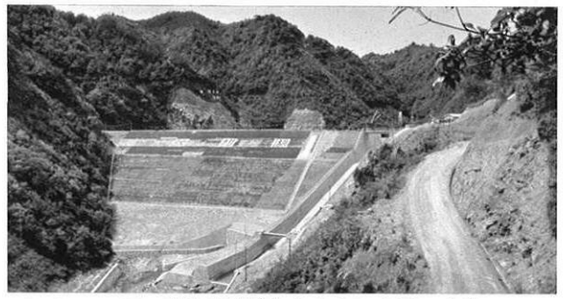


（上） 5．14 愛鳥週間の日、河内芳野中学の愛鳥クラブでは巣箱かけの行事を…金峰山登山にきた寺本知事も激励。

（上） 5．15 熊本県に２台目の胃検診車がお目見え。６月から県下一円の巡回検診に出動。

（上） 5．17～31 県では“郷土に残って郷土をおこそう”と新規学卒者に郷土産業への就職を呼びかけた。

（上） 5．25 交通事故０への悲願をこめて熊本県交通安全県民会議が発足。



（上） 4．25 本渡市楠浦町を中心に300ヘクタールの田畑を潤す楠浦ダムが竣工。

（上） 5．2 児童福祉週間行事の一つとして、保育園児を招いて子供劇場等が開かれた(写真は風船上げ)。

（上） 5．8 七周年を迎えた県農業構造改善事業の実績をふりかえり、大会や写真展示会が開かれた。

（上） 5.9～13 航空防除の開発と事故防止の推進をはかるため農林水産航空事業全国研修会が開かれた。